久米南町GIGAスクール構想に基づく各種計画

**１　端末整備・更新計画**

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 令和6年度 | 令和7年度 | 令和8年度 | 令和9年度 | 令和10年度 |
| ①児童生徒数 | 214 | 211 | 203 | 211 | 205 |
| ②予備機を含む 　整備上限台数 | 246 | 242 | 156 | 9 | 1 |
| ③整備台数 　（予備機を除く） | 0 | 67 | 136 | 1 | 2 |
| ④③のうち 　基金事業によるもの | 0 | 67 | 136 | 0 | 0 |
| ⑤累積更新率 | 0 | 31 | 100 | 96 | 100 |
| ⑥予備機整備台数 | 0 | 10 | 20 | 0 | 0 |
| ⑦⑥のうち 　基金事業によるもの | 0 | 10 | 20 | 0 | 0 |
| ⑧予備機整備率 | 0 | 14 | 14 | 14 | 14 |

（端末の整備・更新の考え方）

　　令和７年度から令和10年度の4年間で、GIGA第１期における令和3年度で整備した端末の更新を計画する。

　　整備済みの端末が故障等により稼働不能となった場合を鑑み、更新時に予備機を購入する。

（更新対象端末のリユース、リサイクル、処分について）

〇対象台数　130台

〇処分方法

　　　原則、処分対象の端末は稼働不能となったものとする。ディスプレイの破損など一部部品が破損した端末は、他端末の修理用部品として保管する。ただし、破損した部品については、事業者へ委託し、処分する。

　　　通常使用しない端末ではあるが、使用が可能な端末は、教職員やＩＣＴ支援員の要望を確認しつつ、補助端末として利用する。

〇データの消去方法

　・自治体の職員が行う。

　・処分事業者へ委託する。

〇スケジュール　　令和3年4月　端末整備

　　　　　　　　　　　　令和８年３月までに　新規購入端末の初期設定

　　　　　　　　　　　　同年４月　　　　　　　 新規購入端末の使用開始

　　　　　　　　　　　 令和９年３月までに　新規購入端末の初期設定

　　　　　　　　　　　　同年４月　　　　　　　 新規購入端末の使用開始

　　　　　　　　　　　 　　令和10年3月までに　新規購入端末の初期設定

　　　　　　　　　　　　　　同年4月　　　　　　　 　新規購入端末の使用開始

**２　ネットワーク整備計画**

　　・必要なネットワーク速度が確保できている学校数（4校・100％）

　　・久米南町内にある小中学校では、役場のサーバーを経由しインターネット（ベストエフォート（最大1Gｂｐｓ））接続されている。また、現時点で、普通教室、特別教室等の学習場所で必要な通信速度の確保ができている。教職員のICT活用能力の向上及び学習への積極的な活用を促進するため、今後も継続して校内のICT機器及びネットワーク環境の整備を行い、ICT支援員を中心に必要かつ安定したネットワーク環境の維持に努める。

**３　校務DX計画**

久米南町では、GIGAスクール構想に基づき令和3年度からICT環境の整備を進めてきました。しかしながら、教育現場では業務の複雑化や負担増加といった課題が依然として存在しており、効率的な校務運営が求められている。

　　　　 これらの課題を解決するため、本町では教職員の働き方改革の一環として、校務デジタルトランスフォーメーション（DX）を推進し、業務の効率化や負担軽減に向けた次の具体的な取り組みを進めることとする。

久米南町では、次の３点を中心に校務DXを推進する。

（１）　保護者との情報共有の強化

　　・情報連絡ツールを活用することで、行事や通知等の配布物をペーパーレス化するとともに確実な情報共有を効率よく進める。

　　・クラウドサービスを活用し、各種連絡、アンケート調査等を実施する。

（２）　業務の効率化

　　・校務支援システムを導入し（令和３年度より）、出退勤管理、成績処理等の効率化に取り組んでいる。また、定期的にシステムの見直しを行い、改善を図っている。

　　・校務支援システムの名簿情報の入力については、町教委からデータで提供を行うことで手入力作業をなくし、合理的に取り組むことができている。

　　・校務支援システムの更改の時期に合わせて次世代の校務支援システムへと移行できるよう、令和８年度までに校務系ネットワークシステムの現状分析や望ましい校務の在り方などについて具体的な検討を行い、令和11年度の次世代型校務システムの導入完了を目指す。

・認証システムの導入を検討し、ＦＡＸや押印の廃止に向けて取り組む。

　　・クラウドツールを活用し、職員会議や校内研修の資料等を共有し、ペーパーレス化と事前に情報共有をすることで、会議の効率化と質の向上を図る。

　　・各種研修等をオンラインやオンデマンド視聴で実施し、移動のロスや負担をなくすとともに時間や場所の制約を受けない参加と効率化を実施する。

（３）　セキュリティ対策の強化

　　・策定したクラウド対応のセキュリティポリシー（令和３年度）を教職員間で共有するとともに、随時見直し、改善を進めていく。

　　・教職員は、定期的に情報セキュリティに関する研修を受講する。

**４　１人１台端末の利活用に係る計画**

**１人１台端末をはじめとするICT環境によって実現を目指す姿**

1. 久米南町では、中央教育審議会答申「令和の日本型学校教育」の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～」を受け、学校教育の基盤的なツールとして、ICTは不可欠なものと考えます。引き続き久米南町では、「１人１台端末環境を基盤とした授業改善と個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」の実現に向け、日常的なICT活用頻度等を指標として授業改善を進めます。

　上記を踏まえ、目指す学びの姿を次のとおりとします。

〇　学校や家庭において、自分の判断で端末を活用して学ぶ。

〇　自分の学習進度等に応じ、ICTも活用し、自ら学習を調整しながら学ぶ。

〇　クラウドを活用し、「他者参照」「途中参照」「相互啓発」して協働的に学ぶ。

〇　探究的な学習の過程において、ICTの使いどころや、端末の効果的な使い方等を思案

して主体的に端末を活用して学ぶ。

（２）　ＧＩＧＡ第１期の総括

　　　　令和２年度の国のＧＩＧＡスクール構想により、1人1台端末、ネットワーク環境が整備され、令和３年度から全児童生徒が、授業や家庭学習で活用を進めてきた。それまで使用してきたデジタル教科書、タブレットドリル等の学習支援ソフトを効果的に活用しながら、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に進めてきた。現在では、ほぼすべての授業で端末を活用できている。家庭でのWifi環境も整備が進み、令和３年１０月からは、端末の持ち帰りによる家庭学習でも活用している。（Wifi環境が整備されていない家庭には、ルーターの貸出を実施している。）今後も授業と家庭学習をつなぐ効果的な活用方法を研究していく。

（３）　1人1台端末の利活用方策

久米南町では、GIGA第２期における１人１台端末の更新を令和７年度、令和８年度に予定している。

主体的・対話的で深い学びの実現に向けた個別最適な学びと協働的な学びのためのＩＣＴ活用や積極的な家庭学習の利用を推進するため、引き続き１人１台端末環境を維持する。

　　　　また、次のとおり目標を設定し、教育DXを推進する。

【日常的な活用】学校における１人１台端末の活用割合

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 項　　目 | 評価の指標 | 現状値（Ｒ６） | 目標値（Ｒ８） |
| 個別最適・協働的な 学びの充実 | 児童生徒が自分で調べる場面において端末を週３回以上使用させている学校活用の率 | 100% | 100％ |
| 児童生徒が自分の考えをまとめ、発表・表現する場面において端末を週３回以上使用させている学校活用の率 | 100％ | 100％ |
| 教職員と児童生徒がやりとりする場面において端末を週３回以上使用させている学校活用の率 | 100％ | 100％ |
| 児童生徒がやりとりする場面において端末を週３回以上使用させている学校活用の率 | 33％ | 100％ |
| 児童生徒が自分の特性や理解度・進度に合わせて課題に取り組む場面において端末を週３回以上使用させている学校活用の率 | 33％ | 100％ |
| 学びの保障 | 希望する不登校児童生徒へ端末を活用した授業への参加・視聴を希望する機会を提供している学校活用の率 | 小：週1回以上33.3％  　　該当なし66.7％  中：実施可能 | 100％ |
| 希望する児童生徒への端末を活用した教育相談を実施している学校活用の率 | 小：月1回以上33.3％  実施可能33.3％  該当なし33.3％  中：実施可能 | 100％ |
| 外国人児童生徒に対する学習活動等の支援に端末を活用している学校活用の率 | 小：該当なし  中：100％ | 100％ |
| 障害のある児童生徒や病気療養児等、特別な支援を要する児童生徒の実態等に応じて端末を活用した支援を実施している学校活用の率 | 小：実施33.3％  　　該当なし66.7％  中：該当なし | 100％ |

※現状値の数値は令和6年度全国学力調査の学校質問紙の回答を参照